

## 人口に最も比例した議席配分

2020年度の国勢調査後から使用される議席配分方式＝アダムズ方式  
衆議院議員の議席配分例(小選挙区選出議員定数289, 人口は2010年度の国勢調査結果)

|        | 人口          | 人口の割合% | 議席  | 議席の割合% |
|--------|-------------|--------|-----|--------|
| 5大 都府県 | 45,678,239  | 35.67  | 98  | 33.91  |
| 9中 道府県 | 36,988,878  | 28.88  | 81  | 28.03  |
| 33小 県  | 45,390,235  | 35.45  | 110 | 38.06  |
| 47都道府県 | 128,057,352 | 100.00 | 289 | 100.00 |

5大 都府県＝東京都, 神奈川県, 大阪府, 愛知県, 埼玉県

9中 道府県＝千葉県, 兵庫県, 北海道, 福岡県, 静岡県, 茨城県, 広島県, 京都府, 新潟県

33小 県＝宮城県, 長野県, 岐阜県, 福島県, 群馬県, 栃木県, 岡山県, 三重県, 熊本県, 鹿児島県, 山口県, 愛媛県, 長崎県, 滋賀県, 奈良県, 沖縄県, 青森県, 岩手県, 大分県, 石川県, 山形県, 宮崎県, 富山県, 秋田県, 和歌山県, 香川県, 山梨県, 佐賀県, 福井県, 徳島県, 高知県, 島根県, 鳥取県

人口の最も多い地域は総人口の35.7%を占めるが, 議席は33.9%しか受け取っていない  
つまり, 1.8%少ない議席を受け取っている  
人口の最も少ない地域は総人口の35.5%を占めるが, 議席は38.1%も受け取っている  
つまり, 2.6%多くの議席を受け取っている

アメリカ下院方式＝ヒル方式の結果

|        | 人口         | 人口の割合% | 議席  | 議席の割合% |
|--------|------------|--------|-----|--------|
| 5大 都府県 | 45,678,239 | 35.67  | 103 | 35.64  |
| 9中 道府県 | 36,988,878 | 28.88  | 82  | 28.37  |
| 33小 県  | 45,390,235 | 35.45  | 104 | 35.99  |

ベストの配分方式＝中庸方式の結果

|        | 人口         | 人口の割合% | 議席  | 議席の割合% |
|--------|------------|--------|-----|--------|
| 5大 都府県 | 45,678,239 | 35.67  | 103 | 35.64  |
| 9中 道府県 | 36,988,878 | 28.88  | 83  | 28.72  |
| 33小 県  | 45,390,235 | 35.45  | 103 | 35.64  |

中庸方式の結果: 人口の割合と議席の割合がよく一致している

中庸方式とは

(州の人口の割合 × 州の議席の割合)の平方根の総和(これを数学ではバタチャリア係数と呼ぶ)を最大にする配分方式

数式を用いると以下のようにいえる

$P_i$  : 州  $i$  の人口の割合       $A_i$  : 州  $i$  の議席の割合

中庸方式とは  $\sum_{i=1}^{47} \sqrt{P_i A_i}$  を最大にする配分方式

詳細は

参考文献: 議席配分の数理 一森哲男 近代科学社 2018年